

吉備の魅力に触れ 次世代に伝える

総社の観光とその魅力を体験し、学ぶ「総社観光大学」が、8月21日から24日までの4日間開学。修了した24人が、自らの体験をもとに総社のよさを広める伝道師「総社観光ナビゲーター」となり、巣立っていきました。



土器や熱した石を使って古代食を再現。イノシシ肉の石焼きや、赤米ご飯、蘇（古代のチーズ）など8品を作り、実食した

岡山県立大学を主会場に開かれた「総社観光大学」は、総社の観光地や歴史・文化に触れ、理解を深め、総社の魅力を全国に発信する伝道師「総社観光ナビゲーター」を育成するもの。民俗学者の神崎宣武さんが、「古代吉備のロマン学」をテーマに17のプログラムを設定しました。神奈川県や三重県をはじめ、市内外から24人が参加。吉備国際大学の守安收教授、民俗学者の加原奈穂子さん、倉敷芸術科学大学の濱家輝雄教授らの講義をはじめ、座禅や染物、古代食作りなどの体験、鬼ノ城や備中国分寺など市内の観光地の見学、総社を舞台にし



総社観光大学プロデューサー
神崎 宣武 さん
民俗学者 / 東京都台東区

古代の文化や歴史がなぜ必要か。私たちは、先祖のおかげで今がある。先祖からつないできた力をどうするか。この総社観光大学で、古い時代からつないでいる何かを感じてほしい。そして、さまざまな表現方法で次の世代に伝えていくことが、私たちの役割だと思う。

岡山県立大学を主会場に開かれた「総社観光大学」は、総社の観光地や歴史・文化に触れ、理解を深め、総社の魅力を全国に発信する伝道師「総社観光ナビゲーター」を育成するもの。民俗学者の神崎宣武さんが、「古代吉備のロマン学」をテーマに17のプログラムを設定しました。神奈川県や三重県をはじめ、市内外から24人が参加。吉備国際大学の守安收教授、民俗学者の加原奈穂子さん、倉敷芸術科学大学の濱家輝雄教授らの講義をはじめ、座禅や染物、古代食作りなどの体験、鬼ノ城や備中国分寺など市内の観光地の見学、総社を舞台にし

総社観光プロジェクト実行委員会は、総社の魅力が次世代へも伝わっていくよう、今後も伝道師の育成に取り組みしていきます。
問い合わせ 商工観光課
観光プロジェクト係 (☎ 8277)

宝福寺の座禅堂で座禅体験をする受講者



総社観光ナビゲーターに仲間入り



村川晃 / 神奈川県
歴史が多い総社の魅力を感じることができて、とても満足している。



笹川豊司 / 倉敷市
備中神楽の「吉備津」が印象に残っている。総社のよさを伝えたい。



小橋武史 / 総社市
次世代の人に、総社の魅力を正しく、広く伝えたい。



古川寿一 / 倉敷市
吉備の文化は、歴史の重みが大いことを学ぶことができた。



横溝呂采 / 岡山市
吉備文化の成立と繁栄を学ぶことができた。もっと勉強したい。



池田優花 / 岡山市
まだまだ知りたいことがたくさんあるので、また総社に来て学びたい。



國府真里 / 総社市
県外の人に総社に来てもらい、さまざまな所を紹介したい。



藤岡克志 / 総社市
古代食の再現が一番印象に残っている。吉備の古代文化を伝えたい。



吉田八束 / 総社市
あらためて、生涯己のなすべき人生を歩む決意ができた。



吉田勝江 / 総社市
自分の地元の人に伝え、総社に足を運んで体感してもらいたい。



加藤宏明 / 三重県
4日間で総社の魅力をたくさん学ぶことができ、自身の為になった。



香西尚美 / 総社市
近所の人や知人に講義内容を話し、まずは大学入学を勧めたい。



板野浩子 / 総社市
今回の経験を生かし、ボランティアガイドができればと思う。



板野宏子 / 総社市
もっと総社のことを知りたいと思ったので、来年も参加したい。



小西裕子 / 総社市
今回学んだ吉備文化の魅力や、まずは家族や友人に伝えたい。

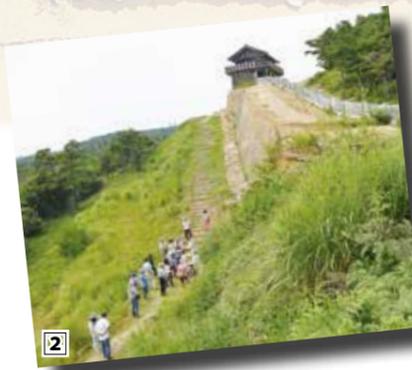


荒井泰博 / 総社市
観光大学で学んだことを、自らの職業に生かしたい。



笠岡真琴 / 岡山市
観光のことを聞かれたら、自信をもって答えられるようになりたい。

他7人



① 宝福寺の三重塔の前で、受講生と神崎さんと記念撮影 [8/21] ② 鬼ノ城見学。壮大な景色に、受講生は心を奪われていた [8/23] ③ 和紙の染色の体験講座。一人ひとりオリジナルのうちわを作成した [8/22]



③

①